

兵庫県との連携概要書

自然の恵みを活かした魅力的なまち



日本のほぼ中央に位置する兵庫県。北は日本海に面し、南は瀬戸海から淡路島を介して太平洋へと続いています。大都市から農山村、離島まで、さまざまな地域で構成されている兵庫県は、「日本の縮図」といわれています。広大な県土、変化にとんだ気候から生まれる神戸ビーフ、山田錦などの農畜産物やズワイガニ、明石鯛などの海産物に加え、我が国最大の酒造地帯「灘五郷」を擁しています。神戸港は今年開港150年。兵庫県政も来年150周年を迎えます。



県花：ノジギク



県鳥：コウノトリ



県木：クスノキ

多彩な兵庫の農林水産物マップ



★「ひょうご農林水産ビジョン2025」 (平成28年3月策定)

ひょうごの多様性と都市近郊の立地を活かした
力強い農林水産業の展開
～平成の御食国(みけつくに)ひょうごの創造をめざして～

- 〔基本方向1〕
需要に応える農業の競争力強化と持続的発展
- 〔基本方向2〕
木材の有効利用と森林の保全・再生
- 〔基本方向3〕
豊かな海の再生と水産業・浜の活性化
- 〔基本方向4〕
新たな価値創出による需要の開拓
- 〔基本方向5〕
活力ある農村(むら)づくりの推進
- 〔基本方向6〕
食と「農」に親しむ楽農生活の推進

東京農業大学出身者

- ◆ 校友会：石原憲一郎(校友会理事・兵庫県支部長、兵庫県参与、造園学科卒)
- ◆ 政治家：原口育大(南あわじ市議会議長、農芸化学科卒)
- ◆ 産業界：松谷英次郎(松谷化学工業会長、農芸化学科卒)、本田真一郎(本田商店社長、醸造学科卒)、古川紀彦(山陽種苗社長、農学科卒)、西海正隆(西海醤油社長、醸造学科卒)、東眞(関西造園土木社長、造園学科卒)、森紘一(JAあわじ島組合長、短期農業科卒)、宮田和男(樹木医、林学科卒)ほか
- ◆ 県職員：小舟博文(加古川農業改良普及センター所長、短期農業科卒)、菅村哲也(兵庫みどり公社農地活性化部長、農学科卒)、三好昭宏(県立農業大学校主任農業教育専門員、農芸化学科卒)、阪上勝彦(人権啓発課主任指導主事、造園学科卒)、椿野健次(総合農政課農イノベーション班長、農業経済学科卒、校友会兵庫県支部幹事長)ほか

今後の交流の可能性

●次代を担う人材の育成に関する事項

- ① 県農業大学校・森林大学校での講義、② 県農業大学校との畜産牧場実習の相互受入、③ 関西就職志望学部生等の淡路景観園芸学校(兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科)への積極的受入れ、④ 博士後期課程(ドクターコース)進学希望者の東京農業大学への入学

●学術・研究・広報に関する事項

- ① 醸造用微生物の改良・育種に関する研究協力、② 製麴・もろみ管理の高度化に関する研究協力、③ 新規種類開発プロジェクトのコーディネート、④ バイオ産業活性化を目的とする講演会・セミナー等の開催、⑤ 農林水産技術センター・森林動物研究センターとの研究協力、⑥ 本県産品の評価、⑦ 園芸療法の国家資格化に向けた協働

●産業・科学技術の振興に関する事項

- ① 新商品開発等への協力、② 兵庫の酒PRへの協力

●雇用の創出に関する事項

- ① 県内企業情報の提供、② インターンシップへの参加、③ カムバックハローワークでの支援、④ インターンシップ学生の受入調整、⑤ 県内への就農を希望する学生や卒業生の掘り起こし、⑥ 県内での就農を希望する学生等への就農支援、⑦ 県内での就農を希望する学生等への研修等の受け入れ

●地域の活性化交流の拡大に関する事項

- ① ふるさと兵庫の地域資源のブランディング

◆ 東京農業大学の窓口教員

森林総合科学科 宮林茂幸教授、森林総合科学科 上原巖教授、醸造科学科 穂坂賢教授、造園科学科 栗野隆准教授

◆ 兵庫県の担当窓口

兵庫県 企画県民部 地域創生課 企画官
〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1
Tel. 078-362-4373

